

製品名: KCE1L ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12922

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNE1L AMMECR2
別名	
遺伝子 ID	23630.0
SwissProt ID	Q9UJ90
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 40-120

背景

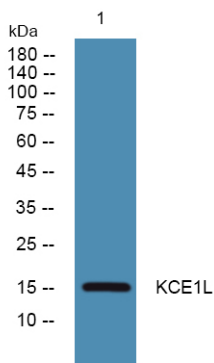
カリウム電位依存性チャネルサブファミリー E 調節サブユニット 5 (KCNE5) ホモサピエンス 電位依存性カリウム (Kv) チャネルは、機能的および構造的観点から見て、電位依存性イオンチャネルの中で最も複雑なクラスです。その多様な機能には、神経伝達物

質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮電解質輸送、平滑筋収縮、および細胞容積の調節が含まれます。この遺伝子は、カリウムチャンネル、電位依存性、isk 関連サブファミリーのメンバーである KCNE1 遺伝子産物と配列相同性を持つ膜タンパク質をコードしています。このイントロンのない遺伝子は、AMME 連続遺伝子症候群で欠失しており、AMME 連続遺伝子症候群に見られる心臓および神経学的異常に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：KCNE1L の欠陥が AMME 複合体の原因である可能性がある[MIM: 300194]。アレポート症候群としても知られるこの疾患は、精神遅滞、中顔面低形成、橢円赤血球症、および軽度の心臓異常を伴う。AMME 複合体は、連続遺伝子欠失症候群である。類似性：カリウムチャンネル KCNE ファミリーに属する。組織特異性：心臓、骨格筋、脳、脊髄、胎盤で高発現する。、

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、KCE1L ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩